

全体像の徹底解明と厳正処分を

「アングラ推薦名簿」の授受は人事への介入とその容認

「金品」の授受は名古屋市職員倫理規定違反

「内覧」は教職員課OBの介入と「金品」接待の場

→どこをみてもすべて犯罪的！



市教委、金品・推薦名簿授受！ 元凶は愛教大学閥

「アングラ推薦名簿・金品」授受の背景には「愛教大学閥」があります。



わたしたちは、この問題発覚以来、市教委と交渉し、名簿・金品授受に関係した団体・人物、金品の使途、始まった時期、内覧の実態など、全貌を明らかにし、教職員や保護者・市民に公表するよう求めています。また、最終報告書作成に向け調査中の検証チームには、「愛教大学閥」の人事支配の実態解明に資する資料を提供しています。

**2023年度市小中学校長会
役員**

会長 = 愛教大卒

副会長の100% = 愛教大卒

理事の100% = 愛教大卒

小学校長の78% = 愛教大卒

中学校長の70% = 愛教大卒

**愛
教
大
学
閥
= 関 = 支 配**

2023年度教職員課

課長 = 愛教大卒

首席管理主事 = 愛教大卒

主任管理主事 = 愛教大卒

管理主事の78% = 愛教大卒

愛教大卒以外の1人の配偶者は愛教大卒校長

愛教大卒以外のもう1人は三重大卒 = 第二閥

愛知県教職員労働組合協議会

名古屋市教職員労働組合 ☎ 242-4474

がっこうコミュニティユニオン・あいち

がっこうコミュニティユニオン・なごや

区校長会・教科研究会・大学同窓会等々の「アングラ推薦名簿」の背景は…

| | | |
|------|------|---------------------------------|
| 管 | 校長 | 学校は左のような教員で構成されている。 |
| 理 | ↑C | |
| 職 | 教頭 | 教務主任は「分掌名」に昇任↑B |
| 昇任↑B | | |
| 教 | 教務主任 | は“中間管理職”扱いされ、管理職と合わせて“三役”とよぶ。↑A |
| 諭 | ↑A | |
| 教諭 | 教諭 | Aは昇進ではないが便宜的に“昇進”とする。 |

A～Cの↑を経て昇進していく。その条件は市教委の公式制度で、①教職経験年数や年齢の他に、②**校長の推薦**、と決められている。これによって、校長に対してもの言えぬ教員がつくられる。

市教委の公式昇任制度の大改革を。教務主任候補者を校長が市教委に推薦するのは、名古屋・愛知と千葉だけ！教務主任任用候補者を市教委が配置するのは、名古屋・愛知だけ！東京や大阪の教頭・校長選考審査は教諭が“自己推薦”で参加する！「校長による推薦」の廃止が昇任人事制度改革の第一歩だ。

校長から推薦されると、「**教職実績書**」や「**推薦書**」が教職員課に送られ、課は、これらの書類審査(教務主任候補はこれのみ)とともに、「面接」「筆記試験」等の「**選考審査**」をする。公式制度によって、**教職員課には個人データが蓄積される。**今回の報道のなかで、**校長OBたちが口をそろえて「アングラ推薦名簿は教職員課に個人情報伝えるために必要だ」と言うが、大ウソだ。**

「**選考審査**」では、推薦された者は「**全員合格**」！とされ、教務主任や管理職の「**任用候補者名簿**」に登録される。「**候補者名簿**」の有効期間は、**教務主任は1年、教頭6年、校長3年**である。

教務主任任用候補者は、「**候補者名簿**」の有効期間が**1年**なので、“**昇進**”の機会**は実質的に4月の1回だけ**となる。**→この機会を逃すまいとして押し上げを工作する！**

校長会や大学同窓会、教科研究会等が「アングラ推薦名簿」を作成

愛知県教職員労働組合協議会 がつこうコミュニティユニオン・あいち
名古屋市教職員労働組合 ☎242-4474 がつこうコミュニティユニオン・なごや

教頭任用候補者、校長任用候補者も大変だ。校長任用候補者でみると、実際はこうだ。

| 年 度 | 新規搭載の校長任用候補者数(人) | 校長昇任者数(人) | 教頭で定年退職した者(人) |
|------|------------------|-----------|---------------|
| 2020 | 92 | 76 | 9 |
| 2021 | 96 | 72 | 11 |
| 2022 | 115 | 67 | 9 |
| 2023 | 112 | 63 | 7 |

2023年4月の昇任者63名は、2020～2022年の任用候補者から任用された(名簿の有効期間が3年だから)のだが、単純化して2022年新規搭載の115名から任用されたとしよう。任用されなかったのは52名となる。同様に考えると、2022年の未任用者は29名、2021年は20名、**この3年間で未任用候補者は101名**となる(実際は、2022年の新規登載者は2023・24年も有効なので、このペースで累積されるわけではない。が、**教頭のままで定年退職する者が出る**)。→**“同じ釜のめしを食った”仲間たちが、未任用の待機組の引き上げを工作する！**